

国際ロータリー第2550地区【栃木】2022-2023年度

ガバナー月信

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtubeで
視聴できます。

YouTube
GOVERNOR'S
message

R.I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.4
2022.10

contents

アイコンをクリックでそのページにとびます。


イマジン
ロータリー
01

02
Governor's
message
ガバナーメッセージ

03
米山月間寄稿

Governor's
official visit
宇都宮陽北ロータリークラブ
宇都宮北ロータリークラブ
宇都宮さつきロータリークラブ
今市ロータリークラブ
足利西ロータリークラブ
大田原ロータリークラブ
04
ガバナー訪問

05
実施行事報告
第26回インターアクト年次大会報告
クラブ米山委員長研修会議
職業奉仕研究セミナー

06
新入・物故会員

07
主要行事予定

08 会員数報告

10 コーディネーターNEWS・ハイライトよねやま

12
Governor's
gallery
ガバナーギャラリー

09 地区大会のご案内

11 NEWS





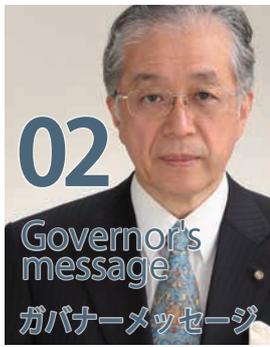
2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



ガバナーメッセージ

さぬきなおみち
佐貫直通

Governor's Message

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー
宇都宮陽東ロータリークラブ

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。



国際ロータリー第 2550 地区の皆様、こんにちは。

10月は、ロータリーの『地域社会の経済発展月間』そして『米山月間』です。

まず『地域社会の経済発展月間』についてですが、なぜこの分野が重要なのか。それは貧困の撲滅は我々最大で最重要な課題の一つだからです。いまだに世界では8億人以上の人々が、1日1ドル25セント以下で生活しているそうです。貧困による不平等は立場の弱い女性や子供たちに向けられ、貧困に拍車がかかけられ問題を複雑にしています。さらに、温暖化等による気候変動によって、自然災害発生が増大などにより食料難や貧困が助長されております。また貧困は同時に、治安や公衆衛生の悪化及び環境破壊を招きます。持続可能な地域社会の経済発展のためには、多様性を認め公平さとインクルージョンを重視し貧困の撲滅が重要課題であることは明白です。

ロータリークラブとロータリアンが地域の貧困層に手を差し伸べると同時に、教育や職業訓練の機会を与え就労へのチャンスを作る必要があります。このような取り組みは、優良な労働人口の増加と経済発展の基礎となるでしょう。どうぞ是非、貧困対策への積極的な取り組みをお願いいたします。



もうひとつは、日本独自の『米山月間』についてです。「ロータリー米山記念奨学会」は、勉学や研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する奨学団体で、日本国内において民間で最大の国際奨学事業です。1920年に日本初のロータリークラブを設立した米山梅吉氏の功績を記念して、1952年に東京ロータリークラブの会員によって始められました。これまでに全国で2万2千人以上の奨学生を支援し、その出身国は129の国や地域に及ぶそうです。2550地区でも、これまで多くの米山記念奨学生を支援してきました。その中で、私と私の所属する宇都宮陽東ロータリークラブでも、たくさんの奨学生のお世話をさせて頂いております。いずれも優秀な留学生で、卒業後母国で、または日本国内で活躍されており、元奨学生との交流は20年30年と長きにわたっております。この奨学金事業が単に奨学金を支給する事に留まらず、人と人の相互理解・国際交流となっていることもたいへん意義深いと思っています。

奨学金事業にご寄付をいただいておりますロータリアン各位に深く感謝申し上げますとともに、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。



強化月間委員長寄稿

『米山月間に因んで』

たじまよしひさ

田島 良久

RI2550 地区 米山記念奨学会 委員長 (馬頭小川 RC)

1. 米山記念奨学会の概要

米山記念奨学会は 1952 年に日本で最初に設立された東京ロータリークラブが、日本のロータリーの創設者とも言える米山梅吉翁の功績を記念して、そしてまた、その意思を継いでこの奨学事業を始めることとなりました。戦後の復興の道を歩み始めた日本にとって、二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に、世界の国々との人物交流を深める必要性を感じていた時代背景の下、米山奨学事業は「留学生が平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く」ことを目的に始められました。その後「日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業」と評価されて、全国のロータリーに拡大していきました。そして 1967 年 7 月 1 日、当時の文部省の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山記念奨学委員会」が結成されてから財団設立まで 10 年の歳月を要しております。米山記念奨学会の財源は、全国のロータリアンからの**寄付**であり、理事会は全 3 4 地区から選出された理事で構成されます。

次に、米山記念奨学事業の特長について申し上げます。米山奨学事業は、日本のすべての地区に関わる「多地区合同奉仕活動」として、「ロータリー章典」の定めるすべての手続きをしています。財団法人ロータリー米山記念奨学会の発行する印刷物等には、RI 理事会の定めにより、当財団が日本国内の全地区による合同プロジェクトである旨を付記したロータリーマークを使用しております。

*世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるよう配慮しています。奨学生はロータリアンとの交流を通じて、奉仕の精神に触れ、自らの精神を磨いて、人生観・職業観を深めます。また、ロータリアンにとっても、金銭的な支援だけでは得られない感動と、事業への深い理解が生まれて、さらなる支援への意欲を盛り立てます。

*日本最大の民間国際奨学事業

年間の奨学生採用数は 910 人 (2020 年 -2021 年度)、国内最大の奨学事業です。(出身国別等は、豆辞典を参照願います)

2. 米山記念奨学会への寄付について

米山への寄付には「普通寄付金」と「特別寄付金」の 2 種類があります。普通寄付金は各クラブで決まった一人分の金額を会員数分ご送金いただく寄付です。特別寄付金は、任意で頂くご寄付で、個人寄付・法人寄付・クラブ寄付の 3 種類があります。2550 地区の目標は、普通寄付・特別寄付を合わせて お一人 **19,000 円以上** でございますのでよろしくお願い申し上げます。各地区の奨学生を何人採用出来るかは、地区の **2 年前の寄付金** 他にて決定されます。新型コロナウイルスによる景気低迷がどのくらいの期間影響するか見えない部分が大きいです。10 月の米山月間にはぜひ、米山記念奨学事業へのご理解とご支援をお願いいたします。戦後、日本のロータリアンが「国際親善と世界平和に寄与したい」との思いでつくり育てた奨学事業は、今、皆さんの手の中にあります。米山記念奨学事業は、すぐに目に見えてくる事業ではなく息の長い事業である事をご理解頂き、奨学生へのご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

Governor's
Official Visit

宇都宮陽北ロータリークラブ

会長 熊本 泰久
幹事 関 夫美

8月9日（火）最高気温37℃という酷暑の中、ベルヴィ宇都宮において佐貫直通ガバナー、第3グループ A 二十二修ガバナー補佐、随員1名をお迎えしてガバナー公式訪問を開催致しました。

会長幹事懇談会では最初に佐貫ガバナーから「緊張しないでください。」とお言葉をいただき、お陰様で終始、和やかな雰囲気での懇談することができました。また、当クラブの現状と課題をお伝えした際には、『居心地の良いクラブ』にしていく為にはどうすべきかを、懇切丁寧にご指導いただきました。会員増強に関しては、3年未満の会員が全体の約4割を占めていること、そして女性会員も9名と、宇都宮陽東 RC 様と並び第2550地区トップの在籍数であることは、とても素晴らしいことだと、お褒めの言葉を頂戴しました。

ガバナーアドレスにおいては、地区方針及び目標をあらためて確認致しました。その中でも特に【ローターアクトの推進】についての理解を深めることの大切さをご教示くださいました。また、RI会長のメッセージにもある「DEIの重要性」については、詳細にわたりご説明をいただきました。最後に今年度からスタートした「ガバナー月信のデジタル化」の最大のメリットとして、発信できる情報量が格段に増えたこと、そして宇都宮陽東 RCの皆さまが全てボランティアで制作されているとお聞きし、とても感動致しました。今後は、佐貫ガバナーからご指導いただきましたことをクラブ運営に活かして参ります。



2022.08.18



Governor's
Official Visit

宇都宮北ロータリークラブ

会 長 猪俣 裕一
幹 事 大橋 義弘

2022年8月18日(木)、当クラブに第2550地区今年度ガバナー佐貫直通様、ガバナー補佐二十二修様、随行で陽東ロータリークラブの増山誠様、渡辺玲子様をお迎えし、「ガバナー公式訪問」が執り行われました。

当日は、会長・幹事会ののち、例会時に佐貫ガバナーによる卓話を頂戴し、例会後に出席会員との記念撮影を行いました。会長・幹事会では、会員の増強及び退会防止が主題となり、各自思うことを佐貫ガバナーへお伺いし、佐貫ガバナーより他クラブでの取り組み、会員増強のアドバイス等、大変参考になるお話をいただき有意義な1時間となりました。卓話では、佐貫ガバナーがプロジェクターを使用しながら今年度のロータリーテーマでもある「イマジン」を引用し、ロータリーへの熱い思いを分かりやすく当クラブ会員へお話しされたことがとても印象的でした。

当クラブは、1985年(昭和60年)11月5日に発足し、今年で37年目を迎えます。現在は7つの常任委員会各々に、1～5つの各委員会が所属しており、各委員会理事・委員長が共に協力しあい、活発に活動しております。一例を挙げますと、友愛委員会での外部卓話は多岐に亘り、奉仕活動プロジェクト委員会に関しても「寺子屋活動」「北海道夕張地区子供食堂」等が積極的に行われ、魅力ある当クラブとなっております。

最後になりますが、佐貫ガバナーにおかれましては、大変お忙しいところご来訪をいただき、改めまして会員一同、感謝申し上げます。

2022.08.22



Governor's
Official Visit

宇都宮さつきロータリークラブ

会長 小山 弥生
幹事 増子 邦彦

8月22日(月) コンセーレを会場に、佐貫直通ガバナー、第3グループB仲田俊夫ガバナー補佐をお招きし、公式訪問を開催致しました。当クラブ例会はすべて会場・オンラインのハイブリッドで行っており、オンラインでも配信を行いました。

例会前の会長・幹事懇談会ではガバナー・ガバナー補佐を始め当クラブ会長・幹事・会長エレクト・幹事エレクト・会員増強委員長で開催致しました。RI会長のテーマであるDEIに関するお話からDXに関するお話を頂いた上で、当クラブは特に会員数が少なく活動に制限があるため、今後のクラブの活動の幅を広げるため、会員増強についてもお話頂き、丁寧なご指導を頂き有意義な懇談会となりました。公式訪問例会は通常通り行いました。ガバナーアドレスでは、RI 会長方針やガバナー地区方針・目標のお話を頂きました。DEI については今後ますます多様化している社会に向けてロータリークラブとしてどうあるべきかを考えていく必要性を感じました。



お話の中で、ロータリアンとしての意識の持ち方、矜持についてお話いただき、ロータリアンとして社会とどう向き合っていくか、どう関係性を築いていくか等様々なことを考えるきっかけになるお話をわかりやすくお話頂きました。

当クラブは数年前にマイロータリーの登録 100% を達成し、地区のソーシャルメディア委員会・IT推進委員会にも多数会員を排出しているため、特に DX について、積極的に取り組んでおります。そういった中で、ロータリアンの矜持や伝統を創出し、うまく DX を取り入れて活動していけるよう運営していければと感じました。貴重なお時間を削り御来訪頂き、誠に有難うございました。

2022.08.24



Governor's
Official Visit

今市ロータリークラブ

会長 沼尾 貴文
幹事 大嶋 隆広

8月24日水曜日 午前11:30、日光東照宮晃陽苑にて第2550地区ガバナー・佐貫直通様、第7グループガバナー補佐・湯澤義典様 随行で来訪いただきました宇都宮陽東 RC 幹事・名村史絵様、玉野京子様をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催しました。

お盆休み明けの訪問とあり、新規感染者が増える予想される為に例会は ZOOM 配信をし、人数を制限して開催する事を理解いただきました。

(会長・幹事懇談会)

ガバナーと会長幹事懇談会は、当クラブから会長・幹事・副会長・副幹事・地区の会員組織委員長5名が出席し、例会の出席率UPや卓話内容のボトムアップの取り組みなど、多様な考え方の取り組みが必要であるなど今後の課題に向けた意見交換が行われました。

(公式訪問例会)

例会は佐貫ガバナーによる、卓話で ZOOM 配信も併用で行われました。今市ロータリークラブ今年度会長は45歳と若い会長で今後の活性化を期待しているとおっしゃっていました。また、今後の日光市における人口減少の中で良い変化を生むための考え方 DEI 多様性・平等さ・公平さの必要性についての卓話をして頂きました。最後に一年交換学生で来日したアクセル君の紹介をさせて頂きました。来日したばかりで、まだ少ししか日本語は出来ませんが佐貫ガバナーの卓話に耳を傾けるアクセル君に、頑張ってくださいとお声を掛けて頂きました。最後に、佐貫ガバナーには、ご多忙の中、当クラブにお越し頂き改めて厚く御礼を申し上げます。

2022.08.25

歓迎 佐貫直通ガバナー公式訪問



Governor's
Official Visit

足利西ロータリークラブ

会 長 大塚 真司
幹 事 世取山晃央

8月25日（木）『東葉館』に於いて公式訪問が行われました。

午後5時から、佐貫直通ガバナー・石井敏夫ガバナー補佐・宇都宮陽東 RC の川人健司様・南木智子様・大塚真司会長・世取山晃央幹事・田村繁守会員増強委員長の7名にて会長幹事懇談会が行われました。主に、会員増強についてのお話がありました。ロータリー活動をPRすることで足利西RCのイメージアップを図り、会員増強に繋げてほしい。又、女性会員・親子会員の入会を勧めながら、退会防止にも努めてほしいとご指摘がございました。社会奉仕につきましては、地域密着で色々な活動をしている事は、素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。例会では、パワーポイントによる説明で、とてもわかりやすく興味を引く内容でした。今後は会員全員で協力し、ロータリー活動に邁進したいと思いをしました。

<クラブ紹介>

2014年の10月から9年に渡り「愛リバーとちぎ」の実施団体として、近隣の松田川・彦谷川の清掃を行っております。過去2年間はコロナの関係で、活動回数は減ってしまいましたが、今年度は以前のように活動を予定しております。創立50周年記念事業として松田川にクリーン運動の看板設置、又その後は、河川清掃活動が認められ、西幸楽荘に看板を1基、設置して頂きました。RC名入りですので、地元のイメージアップに繋がっていると思います。それから、9年間続いております足利西ロータリークラブバドミントン交流大会がございませう。青少年の育成、又は地域社会の交流等の目的で開催しております。参加者数は90名前後でして、会員が昼食の焼きそばを焼き皆さんに振舞っています。過去2年間はコロナの為に協賛という形での開催でした。今年度の11月に開催の予定です。コロナ禍の中での社会奉仕と致しまして、足利赤十字病院にマスク2000枚・消毒液の寄付、又足利市にふるさと足利応援寄付金（山火事）、コロナ感染予防の為にピフェクトシール80セット等の寄付をしております。今後も地域集中・地域密着で奉仕活動を通じて会員相互の親睦・友情を図り、地元から奉仕事業を進めていきたいと思いをします。

2022.09.15

歓迎 佐貫直通ガバナー公式訪問

2022年9月15日

大田原ロータリークラブ



Governor's
Official Visit

大田原ロータリークラブ

会長 荻原 智光
幹事 阿久津清孝

2022年9月15日午前11時、ホテル花月にて、国際ロータリー第2550地区ガバナー佐貫直通様、当クラブの会員でもある、第1グループガバナー補佐小西久美子会員、宇都宮陽東ロータリークラブ会長エレクト川人健司様、鈴木洋平様をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催しました。当日は、会長・幹事懇談会と例会のみの開催とし、オープンディスカッションは、コロナ感染のリスクが高いことから中止としました。

会長・幹事懇談会には、会長、幹事と大橋増強委員長の3名が出席し、7名で行いました。ガバナーからロータリークラブの説明や当クラブへの質問など有意義な時間を過ごしました。佐貫ガバナーからは、例会にズーム参加やガバナー月信のオンライン配信など今後のデジタル化の重要性やRI会長方針であるDEIの考え方などをお聞きしました。私からは、当クラブにおいてはデジタル化が遅れていること、例会の欠席が多くなっている現在の状況に非常に厳しい意見があることを述べると、国際ロータリーも進化し変化している、その情報を的確に把握し、過去のことに縛られず、新しいロータリーに話し合いをしながらなってもらいたい、デジタル化は今後の重要な課題であるなど、温かい指導をいただきました。

例会では、バナー交換の後、佐貫ガバナー卓話になりました。佐貫ガバナーは、パワーポイントを駆使し、RI会長の方針や地区方針と目標など興味深いお話をいただきました。また、私の会長所信にも目を通しておられることなど、第2550地区全体を代表する気概を感じました。最後に記念撮影となり、久しぶりにマスクを取りカメラに納まりました。

今回のガバナーのお話のなかで、ロータリー活動は、社会情勢を見ながら、クラブが変化していくことが必要という発言が脳裏に残っています。

05 行事实施報告



2022年8月12日（金）、宇都宮文星女子高等学校で第26回インターアクト年次大会が開催されました。今年は《Well-being～インターアクトの活動を超越て》のテーマの下、宇都宮文星なでしこインターアクトクラブがホスト、宇都宮北RCがスポンサーとして執り行われました。

コロナ感染防止対策で、ホスト高校関係者及び地区役員以外は、オンラインでの参加となりました。地区内16のIACより111名のインターアクターがオンラインで参加し、佐貫ガバナーをはじめ宇都宮北RCのロータリアンは高校で参加いただき、総勢140名の参加者により、午前9時より午後13時まで、式典と基調講演及び活動報告等が行われました。



開会式は、宇都宮文星なでしこインターアクトクラブ22-23年度会長・早乙女澄伶さんの歓迎の辞で始まりました。「Well-being～インターアクトの活動を超越て」を大会テーマにした経緯を話し、「インターアクトで様々な挑戦をして、自己実現（幸福）を目指しましょう」と問いかけました。続いて、ホスト校の高野剛学校長、スポンサークラブの猪俣裕一会長より歓迎のあいさつがありました。また、佐貫ガバナーは来賓あいさつの中で「インターアクトクラブは国内での奉仕活動でボランティア精神を育みリーダーシップを学び、海外研修などの国際交流により国際感覚を習得し、国を超越て様々な友達を作ることによって多様性を学び、心の育成ができます。現在もコロナ禍で大変ですが、1人では難しくても県内1700名のロータリアンで活動を支援していくので、いろんなことに挑戦して下さい。」と今後の活動に期待をいただきました。開会式後の研修は2部構成で行われました。研修Ⅰでは、文星なでしこインターアクトクラブの先輩でローテックスの原瑞果さんと福田さくらさんに、インターアクトクラブでの体験などについて講演をして頂きました。お二人から「インターアクターとして参加した青少年交換留学の体験で、世界の広さを感じ、世界への入口を見つけ、何事にも挑戦する大切さを実感した。現在も、自分の夢に向かってチャレンジを続けている」とチャレンジする事の素晴らしさを教えて頂きました。また、研修Ⅱでは「各学校の活動報告と今後の活動予定」が発表されました。各高校とも、コロナ感染防止の制約を受けながらも、出来ることを考え、提唱ロータリークラブの協力を受け、諦めることなく未来に向かって活動を継続しています。高校生の諦めない無限の力の素晴らしさを感じ取ることができました。

最後になりますが、年次大会の開催にあたり、ご指導、ご支援いただきました関係各位に対し厚く感謝申し上げます。インターアクト年次大会の報告と致します。

地区インターアクト委員長 藤島 拓(宇都宮南RC)

クラブ米山委員長研修会議

8/21 (SUN)

2022年8月21日(日)宇都宮市ホテルニューイタヤにおきまして、クラブ米山委員長研修会議を開催いたしました。会議開催にあたりましては、ギリギリリアル開催するか、オンライン開催するかで悩んでおりましたが、ホテル関係者等と打合せをしまして、感染予防としまして、大きな会場で、尚且つ、席の間隔を広く取ることで感染予防に努めましてリアル開催とさせて頂きました。

毎年この会議は、8月に開催し、新年度のクラブでの活動報告をしていただいたり、奨学生の卓話を披露してもらったりしてまいりました。今年度も、新型コロナウイルスの影響で5月の地区研修協議会の分科会では短時間でしたので、米山奨学会について詳しくお話をさせて頂く事が出来なかったため、地区研修協議会の内容をメインに説明させて頂きました。最初に、ガバナー・エレクト・ノミニー及び今年度より、米山記念奨学事業を今以上に多くのロータリアンに理解して頂くために高野徹也・二十二修・仲田俊夫ガバナー補佐3名にも同席していただき、次に地区委員の皆様をご紹介しました。続いて、佐貫直通ガバナー・羽石光臣評議員・栃木秀磨地区米山カウンセラーよりご挨拶いただき、次に私から「クラブ米山委員長の役割、奨学会の概略について」と題して、その中で普通寄付・特別寄付についてお話をさせて頂き、米山奨学生3名、元米山奨学生2名に卓話をお願いし、現況及び将来の夢に関して話をさせて頂きました。そして、地区委員の米山資金推進委員会(坂寄修一・宇都宮西RC)より、「寄付増進について」、米山選考委員会(小林正明・宇都宮東RC)より、「奨学生選考について」どのような学生をどのように選考しているのかを解説、最後に米山学友委員会(児玉博利・宇都宮さつきRC)より「学友会活動・危機管理について」それぞれ詳しくお話しさせて頂きました。タイトな時間設定でしたので質疑応答の時間が取れず栃木カウンセラーによる総評に至りました。今後はZoomなどを活用した会議が行われるのかなと思いますが、できれば今回のような会場で顔を合わせた会議が開催されることを願っています。

まだまだコロナ禍が続くと思われませんが、今年度も、25名と多くの奨学生を受け入れております。支援金(ご寄付)はもちろん、米山奨学生を温かくご指導いただければ幸いです。

地区米山記念奨学会委員長 田島 良久(馬頭小川RC)



8月21日(日)開催の地区職業奉仕研究セミナーは、44クラブの登録があり72名の会員予約をうけ、佐貫直通ガバナー、鈴木宏パストガバナー、三井福次郎ガバナーエレクト、市田登ガバナーノミニー、さらに4名のガバナー補佐の皆様にご出席を頂きました。例年、研究セミナーは職業奉仕月間の1月でしたが、過去2年間コロナ禍の影響で出来ませんでした。今回は講師のご都合と会場の設定もあり8月の開催となりました。講師鈴木一作さまは、1994年に寒河江ロータリークラブ入会から各委員長、クラブ会長を歴任したのち、2017-18年度のRI第2800地区のガバナーに就任され、翌2019-20年度は地区の研修リーダー、さらに2020年には国際ロータリー研修リーダーも重任されました。2021年7月号の『ロータリーの友』に、ガイ・ガンディカーの『ロータリー通解』を解釈した「ガイ散策」シリーズを1年間執筆されました。

午前10:00から開会の辞の後、佐貫直通ガバナーのご挨拶を頂き、研究セミナーが始まりました。講演テーマは「今こそ大切なGuy Gundakerのロータリー観」ロータリーの再整理・再構築を！でした。

第1部は What is Rotary? で Guy Gundaker のロータリー観の解説です。ロータリーの目的は奉仕・成長・親睦と学びであり、それらを基盤に、立派なロータリアンを育てながら、価値ある奉仕を通じて、社会に貢献する世界的な団体である。と表現されました。

第2部の「21世紀の職業奉仕」は、10分の休憩後に始まりました。1927年の国際大会でロータリーの一般奉仕概念が職業奉仕・クラブ奉仕・社会奉仕の3分野に分類された事から職業奉仕の定義が様々に解釈された。その解釈は「職業倫理」、「社会への奉仕」、「顧客獲得のための最善の方法」、「天職」、「職業を活かした社会貢献」、とそれぞれ1本の大木であるが、職業奉仕はそれら大木をまとめた1つの大きな森と考える。しかし1987年の職業奉仕に関する声明で追加変更があった。即ち「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること」が加えられた。2016年標準ロータリークラブ定款(第6条の2)に追加されている。1987年以降、RIは職業奉仕活動の1つとして、『職業を活かした社会貢献』を強く推進してきた。これまで5大奉仕と奉仕活動が増えてきた事を、ガイ・ガンディカーなりの解釈をすれば、奉仕を色分けしても意味はない、ロータリアンはあらゆる場面や状況で奉仕に徹すること。ガイ・ガンディカーは「いつでもどこでもロータリアン」と考え、ロータリーの究極の目的は「素晴らしい真のロータリアンの育成」である。そして、本来なら出会えない異業種の会員が、ロータリーの志を共にする仲間となって睦み集う『親睦の喜び』、仕事やロータリアンとしての在り方を『学ぶ喜び』、あらゆる機会に社会に貢献する『奉仕の喜び』。それらを楽しいと思う少年少女のような『純真さ』。自らを『我、道義の職業人たらん』と律し、自らを多少なりとも立派な人間であると思う『自尊心』。そして成功や飛躍の『チャンス』、素晴らしい『感動』。以上の事から、【ロータリーは、人生を豊かにする!】・【Enjoy Rotary】とまとめました。

講演終了後、質疑応答時に3名のロータリークラブ会員より質問がありました。そして、今回の講師 鈴木一作様をご紹介頂いた鈴木宏 PDG より謝辞を頂く事ができました。40分+40分の短時間の講演でしたが、非常に密度の濃い充実した講演をお聞きすることができました。

職業奉仕委員会 委員長 片柳 均 (栃木南 RC)



**今こそ大切な
Guy Gundaker のロータリー観
ロータリーの
再整理・再構築を!**

RI 第2800地区ガバナー (2017-18)
RI 第2800地区研修リーダー (2019-20)
RI 研修リーダー (2020-21)
鈴木 一作 (山形県: 寒河江 RC)



素晴らしい講演をありがとうございました。

訃報

かさはら ゆたか
笠原 泰

2022年8月27日逝去（享年91歳）
所 属 佐野ロータリークラブ

昭和58-59年 会報委員長
昭和60-61年 会員増強委員長
平成2-3年 理事・社会奉仕委員長
平成4-5年 理事・国際奉仕委員長
平成7-8年 青少年奉仕委員長
平成10-11年 理事・国際奉仕委員長

平成12-13年 プログラム委員長
平成14-15年 理事・社会奉仕委員
平成17-18年 広報委員長
平成21-22年 会計監査
平成23-24年 会員選考

ロータリー歴 40年

財団：マルチプル・ポールハリスフェロー（M.PHF）2、米山功労者：3回



訃報

たさき ひでほ
田崎 秀穂

2022年8月29日逝去（享年79歳）
所 属 宇都宮ロータリークラブ

1999-2000年度 出席委員会委員長
2005-2006年度 職業分類委員会委員長
2006-2007年度 会員選考委員会委員長

2007-2008年度 親睦活動委員会委員長
2010-2011年度 出席委員会委員長
2011-2012年度 職業奉仕委員会委員長

ロータリー歴 31年

財団：マルチプル・ポールハリスフェロー（M.PHF）、米山功労者：2回



◆◆◆◆ ご冥福をお祈り致します ◆◆◆◆

22-23年度 地区内主要行事

| 月 | 日 | 曜日 | 行 事 | 場 所 | 担 当 |
|----|-------|-----|---|-----------------------|--------------|
| 10 | 2 | 日 | 23-24ガバナー補佐研修 | ベルヴィ宇都宮 | |
| 10 | 29 | 土 | 「組織規定を理解し変化に対応する」ためのセミナー | ホテルニューイタヤ | |
| 11 | 6 | 日 | 米山記念奨学会カウンセラー研修会 | ホテルニューイタヤ | 地区米山記念奨学会委員会 |
| 11 | 12~13 | 土~日 | RYLAセミナー | コンセーレ宇都宮 | 地区RYLA委員会 |
| 11 | 13 | 日 | 馬頭小川ロータリークラブ創立50周年記念式典 | | 馬頭小川RC |
| 11 | 26 | 土 | 米山記念奨学会面接官オリエンテーション | ベルヴィ宇都宮 | 地区米山記念奨学会委員会 |
| 12 | 9 | 金 | 地区大会記念ゴルフ大会 | 宇都宮カンツリークラブ | ホスト:宇都宮陽東RC |
| 12 | 10 | 土 | 2022-23 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 | ベルヴィ宇都宮 | 〃 |
| 12 | 11 | 日 | 2022-23地区大会 本会議 | ライトキューブ宇都宮 (宇都宮駅東) | 〃 |
| 12 | 11 | 日 | 青少年交換オリエンテーション・クリスマスパーティー | ベルヴィ宇都宮 | 〃 |
| 12 | 18 | 日 | 2023学年度米山記念奨学生面接選考試験 | ホテルニューイタヤ | 地区米山記念奨学会委員会 |
| 12 | 25 | 日 | 22-23第2回諮問委員会 ガバナーエレクト壮行会 | 宇都宮市内 | ガバナー事務所 |

2023年

| | | | | | |
|---|----|---|-----------------------------|---------------|--------------|
| 2 | 4 | 土 | 第9グループIM | | 第9グループ |
| 2 | 5 | 日 | 第3回諮問委員会 | ベルヴィ宇都宮 | ガバナー事務所 |
| 2 | 5 | 日 | 第2回地区運営委員会 | ベルヴィ宇都宮 | ガバナー事務所 |
| 2 | 5 | 日 | 第6グループ IM | | 第6グループ |
| 2 | 9 | 木 | 第3グループAB IM | | 第3グループAB |
| 2 | 12 | 日 | 青少年交換オリエンテーション日本文化体験 | 宇都宮 多気山不動尊 | 地区青少年交換委員会 |
| 2 | 18 | 土 | 23-24地区チーム研修セミナー | ベルヴィ宇都宮 | 佐野RC・ガバナー事務所 |
| 2 | 18 | 土 | 第8グループIM | ニューミヤコホテル | 第8グループ |
| 2 | 25 | 土 | 第5グループIM | | 第5グループ |
| 2 | 26 | 日 | 米山記念奨学会 修了式・歓送会 | ホテルニューイタヤ | 地区米山記念奨学会委員会 |
| 3 | 5 | 日 | 第4グループIM | フォーシーズン静風 | 第4グループ |
| 3 | 19 | 日 | 23-24会長エレクト研修セミナー(PETS) | 葛生あくとプラザ | ホスト:葛生RC |
| 3 | 19 | 日 | 23-24幹事エレクト研修セミナー(SETS) | 葛生あくとプラザ | ホスト:葛生RC |
| 4 | 9 | 日 | 米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション | ホテルニューイタヤ | 地区米山記念奨学会委員会 |
| 4 | 16 | 日 | 23-24年度派遣学生 オリエンテーション | ホテルニューイタヤ | 地区青少年交換委員会 |
| 5 | 14 | 日 | 23-24地区研修・協議会 | 佐野日大高校 | ホスト:田沼RC |
| 5 | 20 | 土 | 宇都宮陽東ロータリークラブ創立30周年記念式典・祝賀会 | ベルヴィ宇都宮 | 宇都宮陽東RC |
| 6 | 4 | 日 | 22-23青少年交換最終オリエンテーション | ホテルニューイタヤ | 地区青少年交換委員会 |
| 6 | 18 | 日 | 米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会 | ホテルニューイタヤ | 地区米山記念奨学会委員会 |

08 会員数報告

国際ロータリー第2550地区8月会員数報告

| | クラブ名 | 例回数 | 会員数 | | | | | | | | 40歳未満 |
|---------|-------------|-----|------|------|----|----|-----|-----|----|-----------|-------|
| | | | 7月1日 | 今月 | 入会 | 退会 | 通算増 | 通算減 | 増減 | 内女性 会員 | |
| 第1グループ | 大田原 | 3 | 24 | 23 | 0 | 1 | 0 | 1 | -1 | 1 | 0 |
| | 黒磯 | 4 | 33 | 35 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 3 | 1 |
| | 西那須野 | 2 | 47 | 48 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 |
| | 黒羽 | 2 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 第2グループ | 大田原中央 | 2 | 24 | 23 | 0 | 1 | 0 | 1 | -1 | 1 | 2 |
| | 鳥山 | 1 | 15 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 氏家 | 3 | 23 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 矢板 | 4 | 10 | 9 | 0 | 1 | 0 | 1 | -1 | 1 | 0 |
| | 馬頭小川 | 3 | 21 | 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 第3Aグループ | 高根沢 | 1 | 14 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 宇都宮 | 4 | 105 | 105 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 |
| | 宇都宮西 | 3 | 68 | 68 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 宇都宮北 | 3 | 41 | 43 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 |
| | 宇都宮90 | 2 | 45 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 3 |
| | (宇都宮90結・衛星) | 2 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| 第3Bグループ | 宇都宮陽北 | 4 | 46 | 47 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 9 | 9 |
| | 宇都宮東 | 4 | 113 | 112 | 0 | 1 | 0 | 1 | -1 | 0 | 3 |
| | 宇都宮南 | 4 | 57 | 56 | 0 | 0 | 0 | 1 | -1 | 7 | 1 |
| | 宇都宮陽東 | 4 | 49 | 49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 1 |
| | 宇都宮陽南 | 0 | 23 | 24 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 7 | 4 |
| 第4グループ | 宇都宮さつき | 3 | 26 | 26 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 |
| | 真岡 | 1 | 54 | 54 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 益子 | 0 | 31 | 31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 真岡西 | 1 | 39 | 39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 |
| 第5グループ | 下野上三川 | 1 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| | 小山山 | 3 | 22 | 21 | 0 | 0 | 0 | 1 | -1 | 1 | 0 |
| | 小山南 | 3 | 14 | 15 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| | 小山東 | 3 | 22 | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小山北 | 4 | 23 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 第6グループ | 小山中央 | 3 | 24 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 栃木 | 4 | 47 | 47 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 |
| | 栃木西 | 4 | 34 | 34 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 岩舟 | 2 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 壬生 | 3 | 17 | 19 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 第7グループ | 栃木南 | 3 | 40 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 1 |
| | 日光 | 3 | 21 | 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| | 鹿沼 | 3 | 65 | 65 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 今市 | 1 | 41 | 44 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 1 | 1 |
| | 鹿沼東 | 2 | 37 | 37 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 |
| 第8グループ | 鹿沼中央 | 0 | 17 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 今市きぬ | 0 | 27 | 29 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | 足利 | 2 | 23 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 足利東 | 3 | 30 | 32 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| | 足利西 | 2 | 11 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 第9グループ | 足利わたらせ | 3 | 35 | 35 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 佐野 | 2 | 55 | 54 | 0 | 1 | 0 | 1 | -1 | 0 | 0 |
| | 葛生 | 4 | 36 | 36 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 田沼 | 2 | 44 | 45 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 佐野東 | 2 | 21 | 22 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | |
| 48RC | | | 1654 | 1666 | 1 | 6 | 20 | 8 | 12 | 110 | 40 |

ローターアクトクラブ 会員数報告(2022. 5.17現在)

| | クラブ名 | 会員数 |
|---|--------|-----|
| R | 宇都宮東 | 12 |
| A | 作新学院大学 | 22 |
| C | 蔵の街とちぎ | 6 |
| | 3RAC | 40 |

地区大会開催のご案内

ホストクラブ：宇都宮陽東ロータリークラブ



2022年12月9日（金）
地区大会記念ゴルフ大会

宇都宮カンツリークラブ
〒320-0051 栃木県宇都宮市上戸祭町 3100
<https://www.utsunomiya-cc.co.jp>



2022年12月10日（土）

会長・幹事会
指導者育成セミナー
RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

13:00 登録開始
【会長幹事会】 13:30 点鐘
15:00 閉会

【地区指導者育成セミナー】

15:10 点鐘
15:20 パネルディスカッション
演題『変革するロータリー』
コーディネーター 佐貫直通ガバナー
パネラー 山崎淳一 RI 会長代理
鈴木宏 パストガバナー
中谷研一 パストガバナー
16:50 点鐘

【RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会】

17:00 受付開始
17:30 開宴
20:00 閉宴



2022年12月11日（日）
地区大会 本会議

08:30 登録開始
09:00 点鐘
11:45 昼食休憩
12:45 午後の部開始
14:00 記念講演 隈研吾氏
16:50 点鐘



世界ポリオデー（ジャパン）ポータルサイトの活用をお願い



第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 桑澤 一郎（茅野）

「今年のポリオデーは、日本全国（ZONE 1 A,2,3）で各クラブや地区が一斉にイベントや活動を行うことで、ファンドレイジングと公共イメージ向上に繋げたい」という佐藤 RI 理事の強い思いを受け、RRFC、EPNC、RC、RPIC が協力して、地区への協力依頼と広報を行うことになりました。

その一環として「WorldPolioDayJAPAN」というポータルサイトを6月に立ち上げ、ここを通じてポリオに関する必要な情報やクラブ、地区同士の情報共有の場を提供しています。

サイト内にあるコンテンツ（内容）は、「このサイトを見ればポリオについての理解や情報提供、共有ができる」という目的で、

- ①ポリオを「理解する」ための資料
- ②ポリオの「現状を知る」ための資料
- ③ポリオのことを「クラブ会員や関係者に説明する」ための各種資料
- ④クラブや地区での「活動計画を共有する」ための情報掲示
- ⑤「寄付を促す」ための情報提供
- ⑥フォトコンテストの案内
- ⑦ロゴの使い方ガイド

を内容として作成してあります。

既に今年のポリオデーは日が迫っておりますので、地区ガバナーや地区委員長、クラブ会長などに広くこのサイトを広報していただき、できるだけ多くのクラブや地区が世界ポリオデーにご参画いただくことはもちろんですが、次年度も同様の取り組みが予定されておりますので、次年度のためにも今から周知をお願いするものであります。

【World PolioDay JAPAN】 [世界ポリオデー（ジャパン）ポータルサイト](#)

世界ポリオデーは10月24日（月）です。
クラブやグループ（分区）、地区で実施する活動やイベントは、23日（日）24日（月）を中心とした日程をお決めいただき、実施して下さい。

実施方法については、下記の情報や他地区の実施例などを参考にお決めいただき、概要が決まりましたらサイト右上の「計画提出」ページから7月いっぱいを目処に実施計画の概要をご提出下さい。提出された計画情報は皆さんで共有し、より多くのクラブ参加の一助とさせていただきます。



～ストーリーテリングの力～



第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 服部 陽子（東京広尾）

「ビジョン声明が達成され、世界中の人びとがみんな笑顔で幸せになること」それは私たちロータリーが実現しなければならない大きな夢です。そのためには外に向けてロータリーを発信し、理解者を増やし、世界でよいことをする仲間の輪を広げていかなければなりません。それには私たち自身の感動の体験を語るストーリーテリングが効果的だと言われています。RPIC になって公共イメージ向上について勉強した時、いいストーリーテリングが相手の心へのインスピレーションとなり、相手に行動を起こさせるパワーとなるのだと聞きました。それは一体どんなストーリーなのだろうか？と常日頃考えていた私に、ストーリーテリングとは何かを実感できる機会が訪れました。

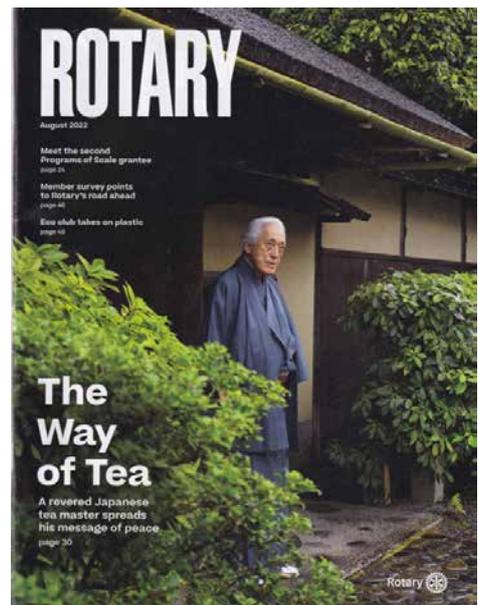
それは8月号の雑誌「ROTARY」を手にした時です。8月号の表紙を飾っていたのは、裏千家の前家元、元RI理事、京都ロータリークラブ会員の千玄室氏のお写真でした。優しさと厳しさを兼ね備えた深い眼差し、和服で日本の緑の中に佇む凛としたそのお姿は、ご自身が歩まれてきた99年の人生を物語るインスピレーションそのもので、私はしばらくその表紙に見入っておりました。そして中を開くと、「PEACE THROUGH A BOWL OF TEA」と題した記事があり、ご自身の第二次世界大戦の特攻隊での体験や、茶道、そしてロータリアンとしての人生について、11ページに亘って書かれていました。

「戦友から託された命のためにも、私は忍耐強く、よく生き、長生きして、自分の運命を全うしなければならない。」と語られ、茶道とロータリーを通じて世界平和を訴えて生きる人生に大きな感動と感銘を受けました。この記事が世界中のロータリアンが読んでいるのだ！と思うと日本人としての誇りさえ感じました。

翌月9月号の「ロータリーの友」でこの記事を読まれた方は多いと

思います。この記事は間違いなく世界中のロータリアンから見た日本のロータリアン

のイメージを大きく向上するものであり、ストーリーテリングの真髄そのものであったと言えます。私自身この記事を読んで勇気と希望をいただき、「ロータリアンであってよかった。自分もこれからの人生をよく生きていかなければならない。」という思いを強くいたしました。



© 2022 Rotary International.

ウクライナ支援への感謝とご報告



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター 飯村 慎一（宇都宮 90）

2022年6月5日、ヒューストン国際大会が3年振りで開催され、コロナウイルス感染の影響がある中、日本からは約500名弱の方が参加され、米国、フィリピンに次いで多い参加数でした。開会式では、恒例の国旗入場が行われましたが、ウクライナ国旗が入場するや否や、会員が総立ちとなり、会場は割れんばかりの拍手が鳴り止まず、又、その旗手は声援に応じて暫く壇上で旗を振り続けておりました。ウクライナ戦争後、世界のロータリアンが一体となり支援しようと立ち上がりましたが、この会場で“心を1つにし(TOGETHER) 行動しよう(TAKE ACTION)”というロータリーのビジョンの一端を体験することができ、感動の瞬間でした。翌日、マッキナリーRI会長エレクトは、ウクライナのための災害救援基金への寄付が1,500万ドル(約20億円)に達したことに感謝の意を述べました。今年の3月から4月末までの僅か2ヵ月間で、これ程の多額の寄付が集まるロータリーの世界的ネットワークの凄さを、改めて認識いたしました。

9月にガバナーエレクト研修セミナー(GETS)が開催され、ロータリー財団管理委員の三木明氏が次の様に挨拶されました。「多くの方々にウクライナ支援のためにご寄付をいただいておりますが、その中のあるロータリアンの方をご紹介致します。九州(福岡)の方で、4月にウクライナのための災害救援基金のことを知り、直ぐに25万ドルを寄付していただき、アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)の会員になりました。円に換算しますと3,000万円以上となり、それも全額、その基金の寄付へ指定されました。心より感謝申し上げます。」為替レートは3月が1ドル116円、4月には122円と急激に円安に向かった時でしたが、その様な事は意とせず、ウクライナ救援のためご寄付をされました殊勝なロータリアンに頭が下がる思いでした。

この様に皆様のご支援により日本の寄付総額は334万ドル(約4億5千万円)となり、この数値は、世界の寄付総額1,500万ドルの約23%を占めております。日本の世界に対する会員数比率は7%前後ですので、これは日本のロータリアンが献身的にウクライナ救済に協力された結果の表れであります。心より感謝申し上げます。

これからも引き続き、ロータリー財団をご支援頂きますようよろしくお願い申し上げます。



1. 理事会と評議員会をハイブリッド形式で開催

8月23日に第35回理事会を対面とZOOMのハイブリッド形式で開催しました。第34回理事会は対面開催でしたが、昨今の感染者増加の状況を鑑み、今回はハイブリッド形式となりました。当日は、小沢一彦名誉理事長/役職理事候補者指名委員長と、全国から17人の理事、2人の監事が対面出席、オンラインの出席が14人で、計34人の出席となりました。若林紀男理事長として進行役を務め、第1号～第9号の全ての議案につき、原案通り承認可決されました。

【第35回理事会の主な議案】

評議員後任候補者/理事・監事候補者/奨学金給与規定一部改定/2021年度事業報告/2021年度計算書類/2022年度収支予算書一部修正/2022年度専門委員選任 ほか

また、9月12日には第14回定時評議員会を同じく対面とZOOMのハイブリッド形式で開催しました。昨年9月の定時評議員会は新型コロナウイルスの影響により主にオンラインでの開催となりましたが、今回はハイブリッド形式での

開催となりました。当日は、全国から評議員12人、役職理事7人と監事1人が会場参加、16人の評議員と監事1人がオンライン参加しました。定款により、評議員会の議長は、出席評議員の中から選ばれることになっており、第2580地区の上山昭治評議員が議長に選出されました。

上山議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告 ②職務執行の状況報告③2021年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「後任評議員の選任」「理事・監事の選任」「2021年度計算書類承認」など6議案が諮られ、全て原案通り承認可決されました。

評議員会での理事選任を受けて、同日付で第36回理事会書面決議が成立し、以下の役職理事が選定されました。

| | |
|------|---------------------------|
| 理事長 | 若林紀男氏 (2660) |
| 副理事長 | 滝澤功治氏 (2680) 相澤光春氏 (2780) |
| 常務理事 | 井原 實氏 (2770) 駒井英基氏 (2740) |
| 常務理事 | 神野重行氏 (2760) 田中久夫氏 (2840) |

2. ジャパンフェスティバルで米山をPR!

8月20日、21日、モンゴルにおける日本関連最大イベント、ジャパンフェスティバルモンゴル (JAPAN FESTIVAL IN MONGOLIA 2022) が国立遊園地のホワイトロックセンターで開催され、モンゴル米山学友会会長のウドワル・セデバザルさん (2010-12/下野上三川RC) をはじめとする13人の米山学友がブースを出展し、米山奨学金や学友会についてPRをしました。また、トブ県バヤンデルゲル郡にある学生寮に図書を寄贈する「図書館プロジェクト」のために本の寄付を募ったところ、多くの方が本を寄付してくださったとのことでした。

2022年は日モンゴル外交関係樹立50周年に

あたり、モンゴル日本センターとJUGAMO (モンゴル帰国留学生の会) の協力の下、記念事業として様々な文化イベントが開催されています。



3. まもなく米山月間資料が届きます (9/21 発送)

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子。会員数分お送りしますので、1人一冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、9月中旬に当会HPで公開します。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付マニュアル合

冊）」「2021年度事業報告書」「2021年度決算報告」を送付します。追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。



オリジナルネクタイ&スカーフ
頒布します
限定ネクタイ&スカーフの頒布
チラシを同封しています！

4. 寄付金速報 — 10月は米山月間です —



8月までの寄付金は、前年同期と比べて0.9%増（普通寄付金:0.6%減、特別寄付金:3.9%増）で、約250万円の増加とな

りました。ここ数年での会員数全体の減少により、当会の普通寄付は減少傾向にあります。少しづつ状況が落ち着くにつれて、対面での例会開催など、これまでの日常が戻ることを期待しています。1年に1度の米山月間、今もよろしくお願いたします。

5. スリランカの未来へつなぐ

8月10日、国際ロータリー第2620地区米山学友会会長の青山チャリットさん(2006-08/静岡日本平RC)が、同学友会を代表して母国スリランカ北部のアヌラダプラ・ヒドーガマにあるマダワラガマ・カレッジ小学校を訪問し、日本円で約15万円分の文房具を寄付しました。

同学友会にとって3度目となる教育支援ボランティアの活動先となったスリランカは今、歴史的な経済危機に直面しており、地方には経済的な理由から必要な文房具などを購入出来ない子供たちがたくさんいるそうです。そこで、スリランカ北部地方にある、生徒数155人の小学校の子供たちのために文房具を届けることにし



ました。ガソリン不足により現地までの道のりは非常に大変だったそうですが、喜んでいる子供たちの笑顔を見たら、それまでの苦労も吹き飛んだとのことでした。

青山チャリット会長は、「我々学友会にできることは限られていますが、その中でも小学校の子供たちに文房具を手渡すことができました。しかしスリランカには、医療機器の不足など、困っている子供たちがまだまだたくさんいます。今後もロータリアンの方々にご支援とご協力をいただきながら、可能な限りの支援をしていきたいと思っております」と述べました。

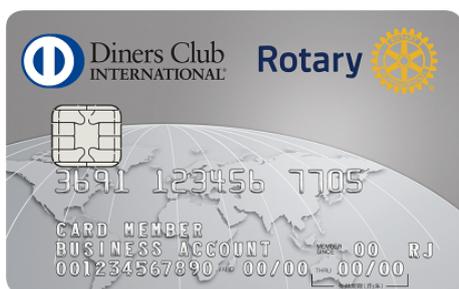


公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当 : 野津(のづ)・長尾(ながお)

ロータリー・クレジットカードの御案内

皆さん、ロータリー・クレジットカードはご存じですか。このカード。ロータリーインターナショナルとカード会社が提携する形で、**カードの利用額の0.3%がポリオ根絶資金**に回されます。提携しているカードは、ダイナースクラブカードとマスターカードの2種類。**カード利用に際して、手数料は一切掛かりません**。通常のカード年会費以外に**ロータリーインターナショナルとしての年会費は一切ありません**。ロータリー財団へのご寄付も可能です。財団へご寄付をされた場合は個人・クラブの年次寄附として加算されます。但し、通常のカード利用では、年次寄附には加算されません。この提携カードは2000年に開始され、860万米ドルが財団に寄附され、うち360万ドルがポリオ根絶資金として役立てられています。ここで、各カードの特徴を見ていきましょう。



ロータリーダイナースカード Rotary Diners Card

個人カードの他にクラブカード、地区カード、地区委員会カードの3種類のコーポレートカードの発行が可能です。各コーポレートカードでは地区、クラブの研修、RIへの分担金、諸経費の支払いにも利用可能です。コーポレートカードでは利用対象者は限定されます。個人カードの場合、既にダイナースクラブにご入会している方は、一旦ご解約をして新規にロータリーダイナースカードにご入会して頂く形となります。**特徴はカードのサービスデスクとは別にロータリークラブ専用のデスクが設けられ**

ていることです。小職は個人カードを所持していますが、正直なところ、電話の繋がり具合、スタッフの対応が全く異なります。同カードの担当課長は、ロータリークラブの方々には社会的に選ばれたの方々。一般のダイナースクラブカード保持者とは区別して、ロータリアンに相応しいサービスを心掛けていきたいと話されていました。

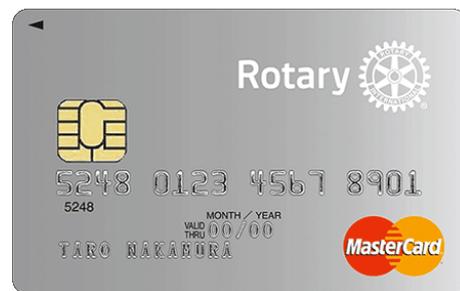
Rotary Diners Card

Rotary Master Card ロータリーマスターカード

個人カードと法人カードの2種類。個人カードにはスタンダードとゴールドカードがあります。

個人のカードの場合、ポイントが溜まるとポイント該当金額をロータリー財団へ寄附することが出来ます。個人・クラブの年次基金としても加算されます。**法人カードの場合、利用額の0.5%がポリオ根絶資金として回されます**。但し、法人カードはクラブ、地区での利用は出来ません。

Rotary Master Card



これを機会にロータリー・クレジットカードを新規に発行して、ロータリー活動に新たな1ページを加えていくのは如何でしょうか。敢えて身構えること無く、日々の生活で楽しみながら、ロータリー財団へ寄附。知らず知らずのカード利用が、世界のポリオ根絶に大きく貢献されます。皆様も是非、ロータリー・クレジットカードへご入会されることを強くお勧めします。



写真撮影が趣味の佐賀ガバナー
次号から、季節に合わせた
栃木の美しい風景をご紹介します。

中禅寺湖の秋

Naomichi Sanuki



日光 中禅寺湖



小田代ヶ原 湯川 那須

秋明菊



曼珠沙華



那須岳

南会津にて 蕎麦畑



杜鵑草

10月の風景 *Naomichi Sanuki*